株式の状況 Stock Information

(2026年9月30日現在)

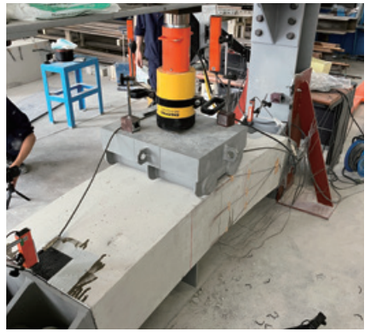
発行可能株式総数	18,970,000株
発行済株式の総数	7,378,050株
株主数	2,273名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
那須電機鉄工株式会社	1,053,200	14.31
積水樹脂株式会社	777,000	10.56
ケー・エフ・シー取引先持株会	506,700	6.88
株式会社三菱UFJ銀行	307,000	4.17
髙田泰子	288,900	3.93
株式会社UH6	283,800	3.86
株式会社中外精工	175,000	2.38
エムエスティ保険サービス株式会社	150,000	2.04
上田薫	125,000	1.70
株式会社村井製作所	111,100	1.51

(注) 持株比率は自己株式(18,512株)を控除して算出しております。

株主メモ Stockholder Memo

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	
定時株主総会	3月31日
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
	その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (連絡先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL (通話料無料)0120(094)777
公告方法	電子公告とし、当社ウェブサイトに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 ウェブサイト　https://www.kfc-net.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所　スタンダード市場
単元株式数	100株
単元未満株式の買取請求受付場所	証券会社等ご利用の株主様はお取引の証券会社等へお申し出ください。 証券会社等ご利用でない株主様は上記特別口座管理機関にお申し出ください。



SHシートボード載荷試験



ガイナ視線誘導ライン反射材施工後(長野自動車道(特定更新等)岡谷トンネル覆工補強工事)

株式会社 ケー・エフ・シー

KFC REPORT

第63期中間報告書

2026年4月1日～2026年9月30日

時代のニーズに対応する、先進の技術を追い求めて













株式会社 ケー・エフ・シー

証券コード：3420

Trust 信頼
Safety 安全
Functionality 機能性

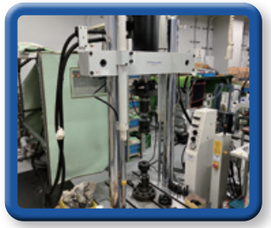


時代のニーズに先進技術で応え続けて半世紀

建設用アンカーのパイオニア

建築･土木用アンカー製品からトンネル補修工事まで幅広く対応しております。

当社では、埼玉県加須市に、全事業部門の技術機能を集約した技術研究所を設けております。それぞれの事業部からフィードバックされる情報、アイデアなどをもとに、新たな製品、技術、工法を開発するとともに、既存技術の異業種、他分野への適応などについても研究しております。



設計・技術開発

現場からのフィードバックにより、さらに安全性と機能性を追求した新たな製品開発に取り組んでおります。



現場施工

トピックス Topics

「建設技術展2026近畿」に出展いたしました

2026年10月28日(水)～29日(木)にインテックス大阪で開催された「建設技術展2026近畿」に出展いたしました。

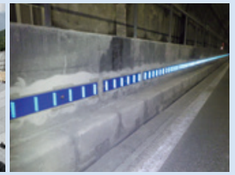
主な展示内容



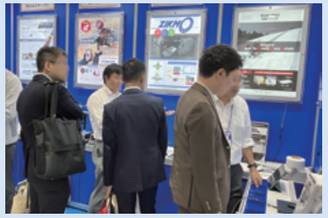
ホーク･インナースリーブアンカー typeR



重金属吸着シート パデムシート



ガイナ視線誘導ライン反射材



株主の皆様へ Top Message

株主の皆様には、
平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申しあげます。



代表取締役社長 **田村 知幸**

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境に改善の動きが見られる中、設備投資の持ち直しや公共投資が底堅く推移したことなどにより、景気は緩やかな回復傾向で推移しております。

一方、継続的な物価上昇に加え、中東情勢の不安定化や自然災害、金融資本市場の変動などによる景気の下振れリスクもあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移しているものの、慢性的な建設技術者、技能労働者の不足や建設資材の高騰など、業界を取り巻く環境は予断を許さない状況にあります。

このような状況の下、当社グループの当中間連結会計期間の連結業績につきましては、売上高は106億90百万円となりました。収益面につきましては、売上高は減少したものの、一部の大型工事物件で先行着手していた追加契約分について、契約が締結できたことなどにより、経常利益６億70百万円、親会社株主に帰属する中間純利益４億57百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、雇用環境の改善や賃金動向の変化などを背景に、緩やかな回復が続くことが期待されます。一方で、物価上昇の影響や人手不足の深刻化、金利・為替動向や中東情勢などの地政学的リスクも存在しており、企業経営を取り巻く環境には引き続き注意を要する状況が見込まれます。

一方、建設業界においても、建設資材価格やエネルギー価格の高騰、建設技術者・技能労働者の慢性的不足や、建設業におけるデジタルトランスフォーメーションの進展など、まだまだ数多くの課題を抱えており、事業環境をめぐる見通しは今なお不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、2027年３月期は、持続的に成長可能な企業を目指して策定した「ケー・エフ・シーグループ中期経営計画〈2025年３月期－2027年３月期〉」の最終年度となります。当社は本中期経営計画の達成に向け、DXの推進、人的資本経営の強化及び成長投資の拡大を通じて資本効率の向上を図るとともに、組織力の強化及び生産性の向上を推進し、中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

また、常にオンリーワン技術にチャレンジする当社の精神を礎とし、豊かな社会資本・インフラ整備に貢献する「業界のリーディングカンパニー」としての企業体制を確立してまいります。

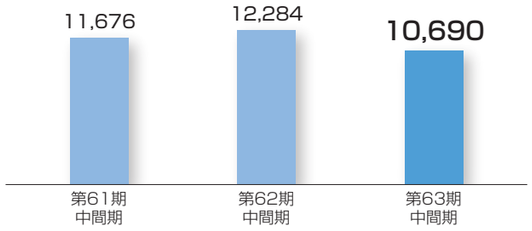
これらの着実な積み重ねにより、いかなる市場環境においてもステークホルダーの皆様のご期待に応えることができる企業力を築いてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

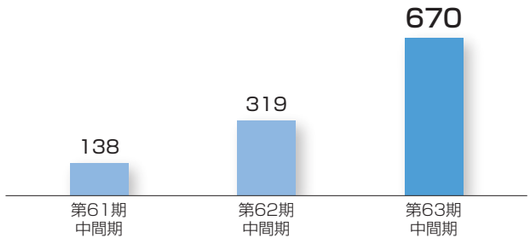
財務ハイライト(連結) Consolidated Financial Highlights

（単位：百万円）

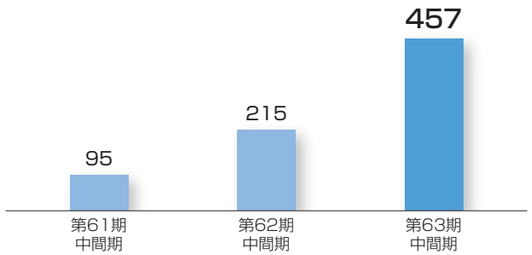
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する中間純利益



事業部門別概況 Business Outline

セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

ファスナー事業

売上高 36億47百万円

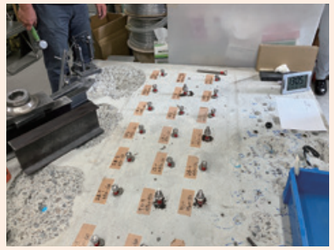
前年同期比 1.5%増



耐震関連工事の売り上げは伸び悩んだものの、「あと施工アンカー」をはじめとする建設資材の販売が前年同期と比較して増加したことなどにより、売上高は増収となりました。



ガイナ載荷試験状況



SRタイト速硬type試験施工状況

土木資材事業

売上高 35億21百万円

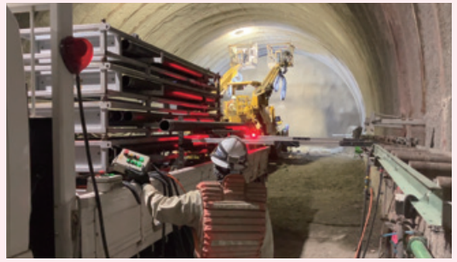
前年同期比 7.0%減



トンネル掘削補助工法に係る土木資材の販売が伸び悩み、売上高は減収となりました。



ロックボルト挿入状況



楽ダナ施工状況

建設事業

売上高 40億37百万円

前年同期比 25.5%減



受注状況は堅調に推移し、一部の大型工事物件で先行着手していた追加契約分について、契約締結が完了し売上を計上した一方で、その他大型工事物件が一巡したことなどにより、売上高は減収となりました。



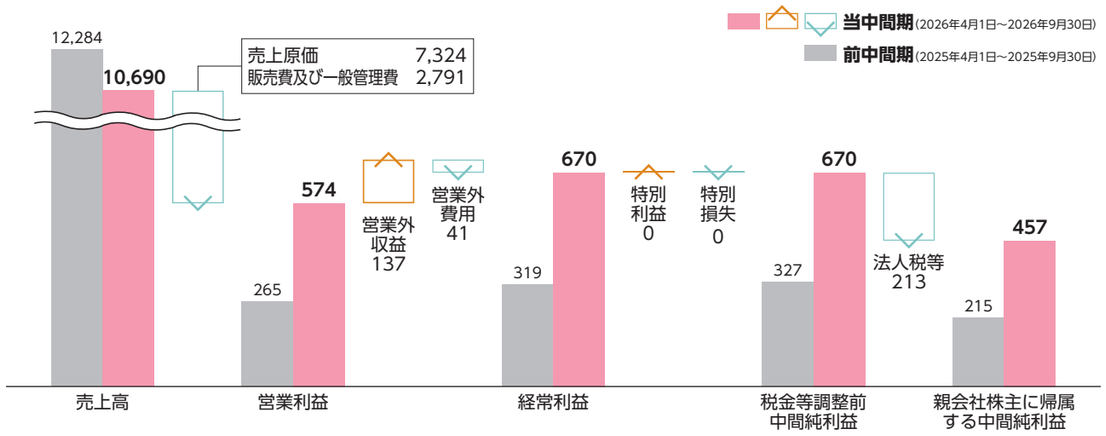
コンクリートはつり施工状況
（関越自動車道
R7湯沢管内コンクリート構造物補修工事）



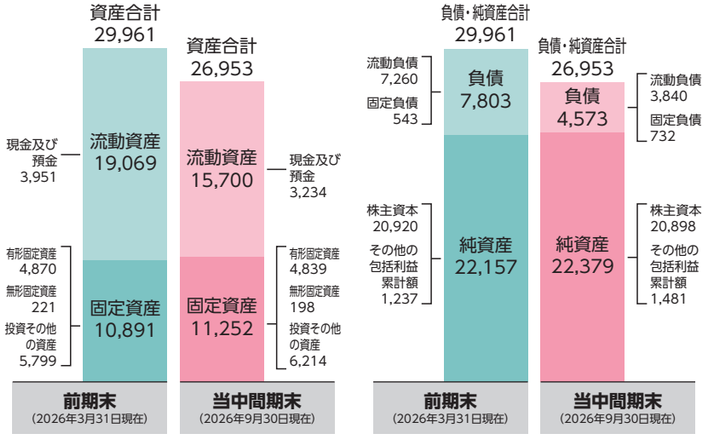
既設透光板撤去状況
（令和6年度 京都高速道路事務所管内 遮音壁取替工事）

連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

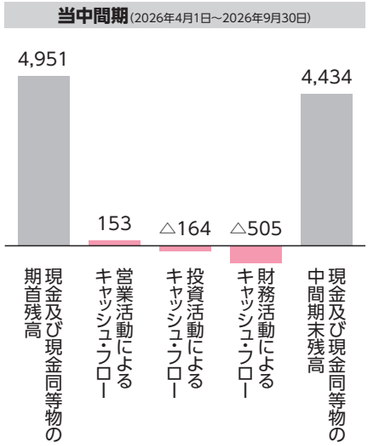
中間連結損益計算書 (単位:百万円)



中間連結貸借対照表 (単位:百万円)

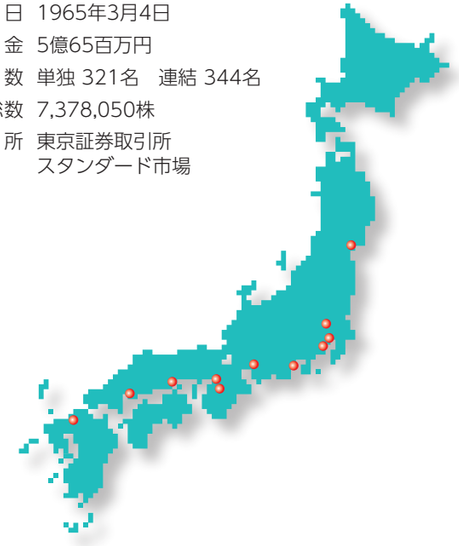


中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



会社の概況 Corporate Profile

商号	株式会社ケー・エフ・シー
設立年月日	1965年3月4日
資本金	5億65百万円
従業員数	単独 321名 連結 344名
発行済株式の総数	7,378,050株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場



役員

(2026年9月30日現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長(兼)執行役員社長	田村知幸
取締役副社長(兼)執行役員副社長	石田裕宗
専務取締役(兼)専務執行役員	稲葉朗
取締役(兼)執行役員	石原淳
取締役(兼)執行役員	佐竹辰州
社外取締役	中桐万里子
社外取締役	榎本麗美
社外取締役	嶋孝浩
常勤監査役	堀口康郎
社外監査役	五島洋
社外監査役	渡部靖彦

執行役員

執行役員	村井良和
執行役員	千足裕一
執行役員	新井吉幸
執行役員	菅原崇秀
執行役員	瀬野光陽
執行役員	清水達也
執行役員	竹本幸弘
執行役員	林秀明

本店・本社

本店 〒530-0047
大阪市北区西天満3丁目2番17号 TEL(06)6363-4188

東京本社 〒105-0011
東京都港区芝公園2丁目4番1号 TEL(03)6402-8250
芝パークビルB館11階

流通センター

大阪流通センター 〒584-0023
大阪府富田林市若松町東3丁目4番2号 TEL(0721)24-7511

関東流通センター 〒347-0010
埼玉県加須市大桑1丁目19番地 TEL(0480)76-0091

技術研究所

〒347-0010
埼玉県加須市大桑1丁目19番地 TEL(0480)76-0095

〒584-0023
大阪府富田林市若松町東3丁目4番2号 TEL(0721)24-7511

営業所

東北営業所 〒981-3133
仙台市泉区泉中央4丁目15番1号 TEL(022)772-3981

横浜営業所 〒224-0061
横浜市都筑区大丸8番4号 都筑岩澤ビル TEL(045)949-5801

静岡営業所 〒422-8043
静岡市駿河区中田本町45番16号 TEL(054)654-5670

名古屋ファスナー部 〒461-0048
名古屋市東区矢田南5丁目1番11号 TEL(052)711-8088

岡山営業所 〒700-0975
岡山市北区今7丁目7番13号 TEL(086)243-5722

中国営業所 〒732-0811
広島市南区段原4丁目5番2号 TEL(082)568-4750

福岡営業所 〒812-0016
福岡市博多区博多駅南6丁目16番10号 第一小笠原ビル TEL(092)461-2735

連結子会社(国内)

アールシーアイ株式会社

大阪本店 〒530-0047
大阪市北区西天満3丁目2番17号 TEL(06)6363-4362

東京本社 〒105-0011
東京都港区芝公園2丁目4番1号 TEL(03)6402-7570
芝パークビルB館11階